

大型複合国際会議施設におけるポストコロナを見据えた 遠隔監視等による安心・安全なイベントの開催

代表機関	株式会社野村総合研究所	分野	スマートシティ
実証地域	神奈川県横浜市 (パシフィコ横浜)	コンソーシアム	(株)野村総合研究所、(株)JTOWER、NECネットエスアイ(株)、綜合警備保障(株)、ヤマハ(株)、(株)横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)、横浜市、(一社)横浜みなとみらい21
実証概要	<p>ポストコロナ時代の大型複合施設での安全・安心なイベント開催においては警備品質の向上と効率化、感染予防対策の実施、イベントのハイブリッド化*が必要といった課題が存在。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ローカル5Gを活用し、安全・安心なハイブリッド型イベント*に向け、遠隔ロボット監視システム、混雑検知システムとサービス連携によるロボットによる混雑アナウンスシステム、および遠隔同期演奏システムの実証を実施。 ➢ ポストコロナ時代における、来訪者・施設管理者・主催者・出展者にとって安全・安心なイベントの開催を実現。 		
技術実証	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 構造が異なる施設内の複数ホールにおける建物侵入損を考慮した電波伝搬モデルの精緻化、同期局と準同期局の実機を用いた共用検討を実施。 ➢ 周波数：4.7-4.8GHz帯、4.8-4.9GHz帯（各100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋内 		

*ハイブリッド型イベント：会場に人が集まるリアルイベントと、ライブ配信等のオンラインイベントを組み合わせて実施するイベント。

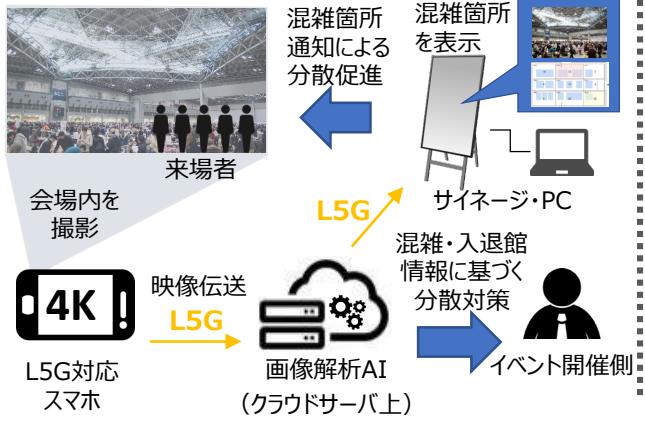
遠隔ロボット監視システム

- ✓ 遠隔操縦、遠隔監視により、警備品質の向上と効率化を実現
- ✓ さらに混雑検知システムと連携し、自動走行と混雑アナウンスを行うことで利用シーンの拡大を図る



混雑検知システム

- ✓ 会場内での混雑検知や来場者への通知、分散促進を簡易な機器で実施できる
- ✓ 施設管理者は人数管理ができ、開催側に来場者の属性情報等の価値提供ができる



遠隔同期演奏システム

- ✓ 遠隔での同時演奏を同期させることで、遠隔にいるアーティストとのセッションを実現させる
- ✓ 飛沫の飛散が懸念されるボーカルのみ別会場とする感染対策を講じ、イベントを開催できる

